

平成25年10月定例教育委員会会議録

日 時	平成25年10月15日(火) 午後1時30分～3時10分
場 所	秦野市役所西庁舎3階会議室
出席委員	委員長 望月 國男 委員長職務代理者 高橋 照江 委員 飯田 文宏 委員 内田 晴久 教育長 内田 賢司
欠席委員	なし
委員以外 の出席者	教育部長 水野 和成 生涯学習課長 横溝 昭次 教育部参事 大津 道雄 図書館長 石井 勇次 教育総務課長 山口 均 教育総務課課長補佐(庶務担当) 鈴木 利昭 学校教育課長 大津 操 教育総務課庶務班主事補 川崎 倫明 教育指導課長兼 教育研究所長 杉山 哲也
傍聴者	2名
会議次第	<p style="text-align: center;">10月定例教育委員会会議</p> <p>日 時 平成25年10月15日(火) 午後1時30分</p> <p>場 所 桜土手古墳展示館映像室</p> <p style="text-align: center;">次 第</p> <p>1 開 会 2 会議録の承認 3 教育長報告及び提案 (1) 平成25年11月の開催行事等について (2) 放射線測定結果について (3) 平成25年度全国学力・学習状況調査の結果及び分析・活用について (4) 中学生英語スピーチコンテストの結果について (5) 第26回インターナショナルフェスティバルについて (6) 教科学習支援員前期の活動報告及び後期の派遣について</p>

	<p>(7) 第27回夕暮記念こども短歌大会について</p> <p>(8) 図書館電算機器更新に伴う休館について</p> <p>4 協議事項</p> <p>(1) 小中学校普通教室等への空調設備の導入について</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉会</p>
会議資料	別紙のとおり

望月委員長

それでは、10月の定例教育委員会会議を開催いたします。
 お手元の会議次第に沿って進めさせていただきます。
 まず、会議録の承認ですが、ご意見、ご質問等がございましたら、お願いいたします。
 秘密会の件については、御意見、御質問がある場合には、会議終了後、事務局にお申し出ください。
 —とくになし—

望月委員長

それでは、ないようですので、会議録を承認いたします。
 次に、「教育長報告(3)平成25年度全国学力・学習状況調査の結果及び分析・活用について」及び「協議事項(1)小中学校普通教室等への空調設備の導入について」は、非公開情報等が含まれていますので、秘密会での報告及び協議としてよろしいでしょうか。
 —異議なし—

望月委員長

よって、教育長報告(3)及び協議事項の(1)については、秘密事項での報告及び協議といたします。

教育長

それでは、教育長報告及び提案についてお願いいたします。
 それでは、資料No.1をご覧いただきたいと思います。
 まず、10月20日から12月2日まで、この会場で古墳展示館秋季特別展ということで、今回は東小学校付近の縄文時代の集落遺跡の発掘調査から当時の秦野の様相がわかる展示を行います。これは11月1日から開かれます指定文化財の特別公開と並行する形で実施します。
 次に、11月2日土曜日、東公民館まつりがございます。
 次に、11月2日から5日まで、これは市民の日に合わせ、第26回はだの子ども野外造形展を開催します。
 次に、11月8日、教育訪問ということで西中学校を訪問します。時間の都合がつけば、ご出席をいただければと思います。

同じく8日に、定例教育委員会会議を開催します。

次に、11月9日土曜日、第26回インターナショナルフェスティバルを西公民館で開催します。

11月9日、10日、北公民館まつりがございます。

同じく大根公民館まつりがございます。

次が、10日の日曜日ですが、丹沢野外音楽イベント「丹沢譚山」を行います。戸川公園を会場として野外音楽イベントを開催します。

同じく11月10日ですが、講演会で「洋楽事始」ということで、東海大学との提携事業ですが、市民大学に創設をされた「音楽・芸術史の会アルス」との共催で講演会を開催するものです。音楽、ルネサンス、西洋音楽史を学ぶということです。

次に、11月11日、第4回園長・校長会でございます。保健福祉センター第4会議室が会場でございます。

次に、11月12日と26日は例月開催しておりますブックスタート事業でございます。

次に、11月15日、のびゆくみんなの交流会を開催します。特別支援学級に在籍する児童生徒、保護者及び教職員の交流を図るため、総合体育館を会場に実施します。

次に、16日土曜日ですが、第4回親子川柳大会表彰式、子どもの市展報徳の部（書道）表彰式を図書館で行います。

次に、16日土曜日、第27回夕暮記念こども短歌大会表彰式が文化会館展示室でございます。

次に、17日の日曜日、第4回いじめを考える児童生徒委員会を堀川公民館で開催いたします。

同じく17日ですが、行政書士による講演と相談会を図書館で行います。相続・遺言についての講演と関連図書の展示です。

次に、18日が学校訪問ということで、上幼稚園を訪問します。時間のご都合がつけば、ご参加いただければと思います。

次に、11月20日から24日までが第43回秦野市展美術の部の開催でございます。文化会館展示室・第一会議室です。

次に、22日が学校訪問、末広小学校です。時間のご都合がつけば、ご参加いただければと思います。

次に、23日、24日が西公民館まつり、同じく23日から24日がチャレンジングリッシュキャンプです。これは子ども育成課が行うのですが、教育指導課でも実施します。会場は表丹沢野外活動センターでございます。

次に、11月24日が第43回秦野市展表彰式を行います。写

真、書道、美術、それぞれの分野について表彰式を行います。会場は総合体育館第1武道場でございます。

次に、11月26日は定例記者会見です。定例市議会前の定例記者会見でございます。

次に、同じく26日、教員対象として国際理解教育研修会を実施いたします。会場は渋沢公民館です。

次に、11月30日から12月1日、渋沢公民館まつりでございます。時間のご都合がつけば、それぞれの会場をご覧いただければと思っております。

教育総務課長

私からは、資料No.2「放射線量測定結果について」を報告します。

この放射線の測定については、一昨年の上野原事故後に、放射線の汚染はどのくらいかということで、昨年度から測定を実施しています。年間計画で、毎学期ごとに教育関係施設の放射線量を測定するものです。今回は、9月24日から27日に、小・中学校22校、幼稚園14園、公民館・図書館等14カ所を測定した結果でございます。小・中は2カ所測定をしております。基本的にグラウンドと側溝ということで、グラウンドは真ん中辺を定点的に測り、側溝は、その都度、場所を変えて測っている状況です。

2ページ目が幼稚園ですが、幼稚園は園庭と砂場と側溝、3カ所は測っております。

公民館・図書館は、1カ所と駐車場について測り、図書館は2カ所測っております。

一番右側の数字ですが、地上5センチメートル、50センチメートル、1メートル、3地点を測定しています。測定の結果は、0.03から0.05マイクロシーベルト、学校施設はその範囲内です。通常、自然界にあるのが0.03から0.04マイクロシーベルトですので、影響は出ていないという結果でございます。

最後の公民館・図書館については、駐車場等について測っているのですが、若干高いような状況です。実は、アスファルトや図書館の14、15番のレンガタイルは、そのもの自体が放射線を発生させているため、0.08から0.09マイクロシーベルトという数字が出ておりますが、これは原発事故の影響ではないということを確認させていただいております。前回6月にも測りましたが、数字はほぼ変わらない状況です。この結果については、今日の会議が終わりましたら、市のホームページ上で公開し、市民の方にお知らせします。

教育指導課長

資料No.4「中学生英語スピーチコンテストの結果について」の

報告させていただきます。

9月23日祝日午後1時半から4時まで、文化会館小ホールで実施されました。今回、3回目となりますが、市内の中学生12名が参加し、それぞれが日ごろ感じていること、伝えたい思い、考えをスピーチで発表しました。参加者は200名少して、この中にオーディエンス賞がありまして、参加した皆さんが、この人がよかったという人を選ぶことも行いました。

審査結果ですが、優勝が瀬下さん、準優勝が高橋さん、3位が中戸川さんです。このお子さんたちは今後、坡州の英語村への派遣等の副賞をもらい、さらに研修を深めることとなります。

なお、今年は、発表者の中にいじめを考える児童生徒委員会の委員がおりまして、そのお子さんが英語でいじめ撲滅についてのスピーチを行い、インターナショナルフェスティバルにおいても、その内容も広めていただけるということでした。

続きまして、資料No.5「第26回インターナショナルフェスティバルについて」報告させていただきます。

秦野市ならではの取り組みとして、26回目になります。秦野市立中学校の生徒が日常の英語学習の成果を発表することによって、英語への興味・関心を高めるとともに、多くの外国人と触れ合うことを通して、異文化を理解し、国際感覚を培うという目的で行っております。

子どもたちは、英語学習の成果を発表し、外国人との交流を行っております。交通の便もいいことも含めて、例年、西公民館で実施しております。

インターナショナルフェスティバル実行委員会を組織し、教育指導課、教育研究所、そして中教研の英語の先生方が実行委員になって実施しております。

内容ですが、英語のスピーチと今年の坡州に行った子どもたちの研修報告が、第1部となっております。第2部が外国人ゲストとの交流ということで、公民館の大ホールで、子どもたちと外国のゲストとの交流があります。

参加者数、10月10日現在、外国人ゲストが、学生が27名、ALT6名の合計33名となっております。この学生のうち、東海大の学生が今年は7名参加していただいています。子どもたちにしてみると、普段、ALTとは話をしたことがありますが、いろいろな国の方々と英語で交流しますので、大変いい学習になります。もしお時間がありましたら、ご覧いただければと思います。

続いて、教育研究所からの報告です。資料No.6「教科学習支援

員前期の活動報告及び後期の派遣について」報告します。内田教育委員に大変お骨折りいただき、東海大学と教育委員会で提携して各学校に大学で推薦された学生に広めていただき、子どもたちの指導にかかわっていただいています。

前期が終わり、全小中学校22校、人数にしまして46名の学生に学校で学習支援をしていただきました。5月下旬に小中学校の教頭と打ち合わせした後、クラスに入ったという状況になります。

活動状況ですが、具体的には小学校、中学校別の記載内容を読んでいただければと思いますが、学校からは大変評判がよく、学生からも、大変勉強になったという声を聞いているという報告を受けております。

裏面(6)の学校からの要望で、幾つか学校から要望が出ている状況です。このような要望を、教育研究所で対応しているのですが、大学も窓口を作り、教育研究所とやりとりしていただくということなので、今後、詳しい内容を詰めていきたいと思っております。

なお、(7)の活動実績書ですが、活動していただいた学生については、教育委員会より、実績書を発行し、大学に送付させていただきます。

2の後期の派遣についてです。後期は、9月の段階で説明会を開き、大学の先生からの推薦をいただき、メンバーが決まっております。後期は2月までということで、同じく小中学校22校で行います。現在53名と、前期よりも多く参加していただいております。

今後ですが、各学校に教育研究所から学生リストを送って、実際に派遣をしていくということになります。

なお、右側の東海大学新聞ですが、今回、東海大学新聞から取材がありました。詳しくは読んでいただければと思いますが、学生の声、学校の声、教育委員会のお願いということで記載されています。左下には、東海大学と秦野市の連携ということで、その辺の提携事業について書いてもいただいております。これはホームページにも載っております。今後、教育委員会も、さまざまな活動に紹介していきたいと思っております。

まず、資料No.7「第27回夕暮記念こども短歌大会について」ご説明します。

第27回夕暮記念こども短歌大会については、教育長からの日程の報告がありましたが、11月16日の土曜日午後2時30分から表彰式を行います。それに先立ちまして、今回の応募状況に

図書館長

ついて、概略を説明します。

今回も市内在住・在学の小学4年生から中学3年生の児童・生徒に作品の応募をお願いしました。

今回、大会の趣旨としては、今年は全国報徳サミット秦野市大会を記念しまして、報徳部門を1つ設けました。

また、今年が前田夕暮生誕130年ということのを記念しまして、特別賞を設けて開催しております。

選考に当たりますには、村岡嘉子先生を選者ということをお願いしております。

今回の作品になりますが、秦野市長賞が2点（小・中各1点）、教育長賞が2点、秦野中ロータリークラブ会長賞が2点、村岡嘉子選者賞が2点、夕暮記念生誕130年記念特別賞が2点、報徳特別賞が2点、あと佳作が39点で、全体で51点が表彰対象になります。

応募状況ですが、小学生の応募数が2,155名、作品数も同様、中学生の応募数が780名、作品数も同様で、合計で応募者数が2,935名、作品も2,935首となります。

24年度を比べると、小学生の応募作品が1,546首、中学生が800首で、小学生は増加しています。また、先ほどお話ししました報徳部門を設けていますので、今年度は自由部門、報徳部門の1人2部門までの応募を可ということでの増加です。

裏面、今回の短歌の応募状況を学校別に掲載してあります。まず、小学生の部が載っていますが、作品としまして、自由部門、報徳部門という形になっています。中学生の部でも同じく自由部門、報徳部門となっております。

例年と違いますところは、中学生の部の自由部門に1名市外の応募がございました。この方は市内に在住されている中学生で、中学校は秦野市以外になりますが応募がございました。

今回の作品2,935首のうち、報徳部門が372首で、全体で51名が入賞になります。

また、入賞した作品は、小学生、中学生、それぞれ市長賞から佳作という形で載せております。

なお、中学生の部の佳作については、選者の村岡先生より該当無しということで、小学生の佳作部門より1点作品が少なくなっています。

表彰については、11月16日土曜日、文化会館展示室1階で午後2時30分から行います。

続きまして、資料No.8「図書館電算機器更新に伴う休館について

て」のお知らせになります。

日時は、今年の11月25日月曜日から12月2日月曜日までの間、休館になります。

主な内容としては、図書館の電算機器システムの更新及び蔵書整理のため休館で、現在、図書館の機器は、平成19年にシステムを更新しましたが、そのリースが5年を経過し、再リースも終わり、機器を更新することになりましたので、競争入札を行い、業者が決定し、システムの更新を行います。

今回更新することによって、図書館の機器等、サーバと呼ばれるコンピューターの中心になる機械が現在1台で稼働しておりますが、結構業務量が増え、携帯電話、パソコンからのアクセスの速度が遅くなっているため、サーバを4台に増やしまして機能を拡充し、市民への対応等が素早くできるよう考えています。

今回、休館中の業務ですが、図書館内の電算機器の入れ替え、ランケーブルの張り替えです。また、公民館については、11館ありますが、利用者端末等の入れ替え、データの入れ替え、インターネット公開システムプログラムの更新を行います。今回入れ替える箇所は、図書館、公民館、東海大学駅前連絡所のタッチパネルの部分業務として変わります。

裏面、図書館のお休み等については、休館する関係で、実際に図書館、公民館図書室等に来られます利用者には、貸出、返却の際に、こういう内容を簡潔にまとめたチラシ等をお配りし、休館についてのPRに努めています。また、広報紙、タウンニュース、ホームページ等にも休館があるお知らせをし、ご迷惑を掛けないようにしています。

望月委員長

それでは、教育長の報告及び提案の3番を除き、1番から8番まで一括して質問、意見等いかがでしょうか。

飯田委員

確認ですが、いじめを考える児童生徒委員会に、PTAも参加する予定で用意しているのですが、依頼は直接学校に来るのでしょうか。PTA役員内でもそれが議論になりまして、どこからその依頼が来るのかをお聞きしたいです。

教育指導課長

各学校のPTAについては、学校を通して依頼をさせていただきます。

飯田委員

地域住民については、子供を育む懇談会から依頼を出しているのですが、全員で集まってということではありません。

市P連を通さないで、直接学校に何名の出席をしてほしいという依頼があるのですか。

教育指導課長

市P連に依頼し、そこから各単Pに依頼しています。

他はどうでしょうか。

2学期は行事の学期と言われていまして、市の教育委員会の行事、学校の行事、研究会の行事などたくさんありますが、教育委員も時間があるときには参加していただければと思います。

英語のスピーチコンテストは、今年度、第3回目になり、12名が参加ということで、私も3年間関わらせていただいているのですが、大分うまくなったと感じます。特に今年度は東京オリンピックのプレゼンがあり、スピーチをする際には、間を取る、ジェスチャーをタイミングよく行う、いわゆる言語以外の、非言語によるものがいかに大事かを子どもたちなりに感じ取ったのではないかと思います。そういう意味では、あのプレゼンの影響があったのではないかと受けとめています。

3位の中戸川さんは南が丘中学校で、去年はオーディエンス賞をとる演説をした子ですが、今年はいじめの問題について英語で発表するというので、これは非常に時宜を得たテーマであるし、それを英語で発表するというので、インターナショナルフェスティバルでも好評が得られるのではないかと思います。

それから、ロータリークラブにも援助していただいたのですが、こういう時世ですから、各種団体がそれぞれ財政的に苦しい中で、会社などから寄付をいただき、何とか目標額を達成することができました。来年3月には上位3名は坡州市に行くことになっております。

インターナショナルフェスティバルについては、時間があれば参加していただければと思います。毎年少し時間をいただき、パサデナ友好協会から、パサデナのことについて話をさせていただいているのですが、来年度は50周年を迎えますので、そのような点からも子どもたちに理解を深めてもらいたいと思います。今年には玉川さんに行っていたくことになっておりますので、ご承知おきください。

教科学習支援員は、9月1日の東海大学新聞に、学生、大学、教育委員会の生の声を載せることで、双方に非常にメリットがあると課長がおっしゃっていた通り、これからまた学生にとっても秦野市にとっても良い互恵関係が築かれれば良いと思います。

夕暮記念こども短歌大会ですが、報徳サミットはいいアイデアだと思います。実は、先週の日曜日に二宮尊徳の記念館の尊徳祭りに行ってきました。そこで生涯学習関係の課長、係長にご挨拶してお願いしますと要請もしてきたのですが、掲示物もいろいろ見てきました。その際改めて教育の力はすごいと思いました。尊

徳の4つの考え方の至誠、勤労、推譲、分度、その考え方がしっかり子どもに定着し、壁新聞に載っていたのです。自分たちで壁新聞を書くという行為を小学校時代からしていると、子どもなりに理解が深まるのだなと改めて思いました。本市も報徳の部門を設け、幾つか読んでみると、なかなかうまく子どもなりに捉えているなと思いますが、この報徳部門は来年度も設けられるおつもりでしょうか。

図書館長

今、委員長よりお話ありました夕暮記念こども短歌大会の報徳特別賞の作品については、来年度以降も継続していきたいと考えております。

望月委員長

尊徳サミットに絡んで、全体的な視野の中でまた検討していただければと思います。

他にいかがでしょうか。

私も尊徳サミットの実行委員の一員として、実行委員会で発言しようと思っているのですが、これは何らかの形で残しながら、内容をどう変えていくか、広報的にどう変えていくかということを考えながらやっていくと、安居院庄七のことについても、もっといろいろ取り扱っていく必要があるのではないかと思います。

では、その他の案件はありますか。

—とくになし—

望月委員長

それでは、秘密会といたしますので、関係者以外の退席を求めます。

—関係者以外退席—

[削除]

望月委員長

それでは、以上を持ちまして、定例教育委員会を終わります。